



9-46
言語

言語学

～言語学が世界を一つにする～



大学
単位

会場

東京工科大学
地図番号17 ※ P86 参照

提供

東京工科大学

曜日・回数

木曜日 15回

時間

10:45～12:15

受講料

11,000円

定員

10名

実施日

9月	21日	28日		
10月	5日	19日	26日	
11月	2日	9日	16日	23日
	30日			
12月	7日	14日	21日	
1月	11日	18日		

※11月23日は祝日開講となります。

備考

※科目等履修
詳細は82ページ参照。

【授業方法】

講義を基本としますが、なるべく生の言語音に触れ、身近な言語現象も取り上げながら、理解を深めていきます。授業中は必ずノートをとってください。ノートPCの利用は不可です。人の話を右から左に聞き流すのではなく、書きとる訓練をします。社会に出てこの習慣は必ず役立ちます。

【準備学習】

普段から言葉について考え、疑問を抱くことが大切です。空腹でなければ、食べ物は喉を通りません。毎回のテーマについて「ここが知りたい」という課題をもって、授業に臨んでください。

【履修上の注意】

遅刻や私語など、教室の緊張感を破壊する行為は厳禁です。

【成績評価方法・基準（科目等履修生のみ）】

毎回、授業の最後にその回の授業内容についてテストをします。第15回はまとめテストです。また、第9回にレポート課題があります。これらのテスト（80%）とレポート（20%）によって成績を評価します。期末試験は行いません。

【教科書】

教科書は指定しません。

【参考書】

授業の中で紹介しますので、図書館などを利用してなるべく多くの本を読んでください。

【授業計画】

- 第1回：言語とは何か
- 第2回：インド・ヨーロッパ語族1 4つの語派
- 第3回：インド・ヨーロッパ語族2 その他の言語
- 第4回：アジアの3語族
- 第5回：アジアとアメリカの言語
- 第6回：豪州、中東、アフリカの言語
- 第7回：日本の起源 日本語はどこから来たか
- 第8回：日本の論理 日本語はどんな言葉か
- 第9回：社会的方言と待遇表現 [レポート課題]
- 第10回：地域的方言について
- 第11回：言語音と文字について
- 第12回：文の組み立て 4次元を文にする
- 第13回：言語の変化 言語はなぜ、どのように変化するのか
- 第14回：言語の習得 言語をどのように身につけるのか
- 第15回：言語の将来 [まとめテスト]

受講生への メッセージ

私たちは毎日、言葉なしで生活することはできません。人類の英知はすべて言語によって蓄積されてきました。どんな勉強も言葉を精査することなくして、深めることはできないでしょう。「考える」とは、言葉を選ぶことに他ならないからです。

しかし、その必要性のあまり、言葉自体について考えることはあるそかになりがちです。私たちが何気なく使っている言葉も、先人たちの思いを代々受け継いでいるものです。そして、それは世界中で話されている3,000とも6,000ともいわれる言語のすべてにおいて言えます。

そこで、この授業はまず、言語の本質について考えます。そのうえで、広く世界の言語について考察します。そして、そこに日本語を位置づけ、さまざまな現象をとりあげながら日本語について掘り下げていきます。さらに、個別言語の枠を超えて、言語の構造、変化、習得についても考えます。

【講師】酒井 優子（さかい ゆうこ）教授

略歴：上智大学大学院外国語学部言語学専攻博士後期課程修了
専門分野：言語学